

登録コード	A3596480	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究				担当教員	三木 敦朗		
英文授業名	Thesis Research							
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	4年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				調査結果の分析をおこなう能力を獲得している。			
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				調査結果の発表・討論を通じて、社会に働きかける能力を獲得している。			
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				調査結果の分析をおこなう能力を獲得している。			
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				調査結果の発表・討論を通じて、社会に働きかける能力を獲得している。			
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	社会調査をおこなうためには、そのための考え方（概念装置）を身につける必要がある。したがって、先行研究や、社会科学に関する古典的著作を学習しつつ、調査に取り組む。本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。							
(5)授業計画	1～6 調査の集計と考察 7～15 論文の執筆とプレゼンテーション 最終回の最後の15分は授業アンケート							
(6)自主学習の指針	(1) 社会科学の古典的名著の学習が必要である。 (2) 日常的な仲間との議論を求める。							
(7)成績評価の基準	目標の8割を達成している……水準にある 目標を達成している……やや上にある 目標の達成に加え、独自の展開をしている……かなり上にある 上記に加え、新たな問題提起ができる……卓越している							
(8)事前事後学習の内容	事前学習については、各時間の最後に、次週までに検討すべき資料を示す							
(9)テストやレポートの予定	毎回のレジュメの提出を求める。							
(10)成績評価の方法	次の結果を総合的に評価する。 1. 毎回のレジュメの内容（80％） 2. 議論への参加（+α 加点、積極的に議論を展開していると判断された場合に加点）							
(11)質問、相談への対応および連絡先	任意の時間におこなう。							
(12)履修上の注意	とくになし。							
【教科書】	そのつど読むべき文献を指定する。							
【参考書】	そのつど読むべき文献を指定する。							